



マイクを握る打越さくら参院議員（右から6人目）=2022年1月9日  
新潟市中央区新潟駅前



「不屈」No.570付録  
新潟県版 No.308

治安維持法犠牲者  
国家賠償要求同盟  
新潟県本部

〒950-3126 新潟市  
北区松浜3-15-13  
伊藤 恭子気付

TEL・FAX 025-258-3685

1月9日

オール野党 新春街宣 新潟駅前で

## 岸田政権の壊憲をとめよう

二〇二三年、オール野党共闘をすすめる市民連合主催の新春街宣が、一月九日、新潟駅前で行われ、八〇人が参加した。

最初にマイクを握った平和運動センター議長の斎藤悦男さんは、「岸田首相は新しい資本主義 新自由主義からの転換」を打ちだし

てはいるが、実際に進めているのは、20万床の病床削減と公的・公立病院の統廃合など社会保障切り捨てと、労働者派遣法の度重なる改悪をはじめとする労働法制の規制緩和で使い捨てられる労働者が激増した。だから実態は弱肉強食の新自由主義を継続している。こんな政権を倒すために今年の参院選で勝利し、政権交代の地ならしをしようと訴えた。

共産党の平あや子さんは、日本の米軍基地にアメリカ兵が入国するとき、フリーパスのため、コロナウイルスをまき散らしている。そのため沖縄では特にコロナ感染者が激増している。屈辱的な日米地位協定を改めさせようと訴えた。

主な記事	岸田政権の壊憲を止めよう オール野党新春街宣 新潟駅前で	1
● 憲法を守り生かし 再び戦争と闇黒政治を許さない 県理事会	255	
● 木崎争議 100年に学ぶ	56	
● 宗教界の戦争責任 - 真言宗を中心にして (八五) 田邊 勉正	78	

# 憲法を守り生かし 再び戦争と暗黒政治を許すな

2022年1月11日

治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟新潟県本部 県理事会

①	【1】12月の行事・活動
②	12月2日 (木) 13時30分～同盟県理事会於：クロスパルにいがた3階 303号室9人参加した。
③	12月5日 (日) 10時～16時ピースフェスティバルin古町於：新潟市中央区古町6番町商店街モール約900。赤井純治実行委員長は大成功と自賛。
④	12月7日 (火) 18時30分～市民アクション主催の講演会「不戦を誓う市民の集い」講師：佐々木寛・国際情報大学教授於：新潟市中央区ユニゾンプラザ大会議場
⑤	12月8日 (水) 開戦記念日「新潟日報」に「新潟県憲法センター」が「不戦の誓い」憲法を守ろうとの意見広告を大きく掲載した。治安維持法国賠された（費用は1団体が27、500円）。
⑥	12月11日 (土) 10時30分～15時治安維持法国賠同盟第39回県本部大会於：新潟市中央区の新潟市立中央図書館（別名ほんばーと）3階多目的ホール講師と来賓を含めて33人参加した。
⑦	12月12日 (日) 13時原発ゼロ集会於：新潟駅前マルタケビル6階大会議室58人参加し、続いてのデモ行進も34人が参加した。
⑧	12月16日 (木) 15時日中友好協会新潟支部役員会於：クロスパルにいがた5号室30
⑨	12月17日 (金) 14時～憲法センター幹事会於：カメ
⑩	12月8日 (水) 憲法センターと新婦人の会が共催して「不戦の誓い」行動日 第1部 1

①	【2】情勢分析 遠山武
②	リア3階 10人が参加した。
③	12月19日 (日) 10時～12時 同盟新潟支部総会於：東区の渋谷明治・五十嵐完二事務所北海道からの参加者もあり、この朝、降雪が10㌢もあつたが、合計16人が参加した。「再び戦争と暗黒政治を許さない」の運動が益々、重要なつながり合意した。
④	12月の国賠署名の増加は、107筆（新潟80筆、点在17筆、新発田10筆）。会員増は1名（魚沼・佐藤憲吉さん）だつた。
⑤	日本は新年に入り、新規感染者が急増している。1月13日、新規感染者は18、673人となり、落ち着いてきていた。世界の直近4週間（12月25日現在）の新型コロナウイルスの死者と感染者数は下表の通りで多いが、日本は特に少ない。しかし、日本は新規感染者は、公立病院にコロナ感染者の受け入れと爆発的増加である。ところが岸田政権は、公立・

直近4週間の新型コロナウイルスの死者が多い上位15カ国と日本、世界総数・累計		
	死者	感染確認者
世界総数	201,709	18,248,172
米国	39,006	3,786,271
ロシア	31,134	827,376
ポーランド	11,434	571,730
インド	11,200	208,877
ウクライナ	11,126	249,796
ドイツ	9,644	1,308,458
ベトナム	6,222	439,532
トルコ	5,217	565,875
メキシコ	5,056	67,448
ハンガリー	4,441	168,442
ブラジル	4,421	161,099
フランス	3,522	1,374,450
英国	3,288	1,832,896
フィリピン	3,033	7,656
イタリア	2,849	585,622
日本	29	3,785
世界累計	5,392,821	278,970,424
日本時間12月25日午後3時現在		3,889,619,493

米ジョンズ・ホプキンス大学システム科学工学センター(CSSE)による

入れ病床の確保を求める一方で、「地域医療構想」の名で430もの公立・公的病院の統廃合計画を進め、急性期病床を20万床削減しようとしている。コロナ対策逆行する悪政である。私たち病床削減計画の撤回を求めよう。

② 岸田内閣は敵基地攻撃能力の保有の検討を主張している。その内容は先制攻撃そのものである。岸信夫防衛相は、敵基地攻撃とは、他国の領域で防空用レーダーや対空ミサイルを攻撃、移動式ミサイル発射機や地下ミサイル基地を破壊してさらなる攻撃を行うことだとと言う。これまでにはGDPの1%以内の防衛費が政府方針であつたが、2%にする方針を岸田政権は掲げた。限りない軍拡競争に踏み出した。限界に膨らむであろう。これが乱暴に踏みにじるこの方針の撤回を政府に求めよう。

③ 岸田政権は、「憲法改正実現本部」を作つて、できれば今年の夏の参院選時に改憲のための国民投票も同時にを行うことを目指しているという。

④ 國土交通省が「建設工事受注動態統計」のデータを書き換えられて二重に計上していた。同統計は建設業の毎月の受注動向を示す國の基幹統計の一つである。書き換えと二重計上が2013年以降、第2次安倍政権の時期に行われたこと。一重計上によつて国内総生産(GDP)が水増されることの2点が問題。このデータ書き換え、二重計上はアベノミクスが経済発展に貢献したとの粉飾が目的だったと考えざる得ない。非常に深刻な問題である。GDPは経済政策をつくる上で、基本中の基本データである。これが偽造されていたとすれば、まともな国会論戰も成り立たないし、検証もできない。徹底究明を求めよう。

①	報告と総括
②	12月2日 (木) 13時30分～同盟県理事会於：クロスパルにいがた3階 303号室9人参加した。
③	12月5日 (日) 10時～16時ピースフェスティバルin古町於：新潟市中央区古町6番町商店街モール約900。赤井純治実行委員長は大成功と自賛。
④	12月7日 (火) 18時30分～市民アクション主催の講演会「不戦を誓う市民の集い」講師：佐々木寛・国際情報大学教授於：新潟市中央区ユニゾンプラザ大会議場
⑤	12月8日 (水) 開戦記念日「新潟日報」に「新潟県憲法センター」が「不戦の誓い」憲法を守ろうとの意見広告を大きく掲載した。治安維持法国賠された（費用は1団体が27、500円）。
⑥	12月11日 (土) 10時30分～15時治安維持法国賠同盟第39回県本部大会於：新潟市中央区の新潟市立中央図書館（別名ほんばーと）3階多目的ホール講師と来賓を含めて33人参加した。
⑦	12月12日 (日) 13時原発ゼロ集会於：新潟駅前マルタケビル6階大会議室58人参加し、続いてのデモ行進も34人が参加した。
⑧	12月16日 (木) 15時日中友好協会新潟支部役員会於：クロスパルにいがた5号室30
⑨	12月17日 (金) 14時～憲法センター幹事会於：カメ
⑩	12月8日 (水) 憲法センターと新婦人の会が共催して「不戦の誓い」行動日 第1部 1

2021年 12月末の到達											
支 部	会員人數	12月の会員増	12月の会員減	国賠署名数				改憲NO!	2021年度会費納入人數		
				出国会一昨年の提の個人	願の国会請の名数	昨年5月9日までの署名数	昨年5月9日以後の署名数				
新潟	115			3,1567	1,017	10	340	2,411	1,000		
長岡	34			1,440	10	1,177	12	38	30		
上越	10			64		10	13	530	1,000		
阿賀野	8			275		42	33		9		
新発田	8			25		0	10		3		
五泉	6			11		10	6		4		
黒埼	7			120	5	25	15	110	5		
豊栄	8			32		9	1		8		
新津	14			151		7	1	500	4		
三条	7			50	2	59	3	20	6		
小千谷	10			225	2	223	2	117	205		
柏崎	4			11				10	2		
魚沼	13	1		224		78	30	280			
佐渡	4					50	20	2	2,000		
点在	8						17		4		
県本部				1,086	32		11	50			
県合計	256	1	0	5	5,081	62	2,625	44	665		
								2	5,329		
									8,110		
									179		

**【7】「治安維持法犠牲者名簿」の発刊問題**

① 1月17日(月) 13時30分  
（検討委員会於：CP会館3階大会議室（再掲）。参加者の拡大を模索中。）

② 国賠中央本部・CP県常任委へ援助指導を要請中。

③ 「発行元（誰が）の確定」「発刊時の装丁・部数等の確定」等の検討を始める。

④ 賛同団体・個人への協力要請

⑤ 事務局会議の開催準備中

⑥ 「木崎争議・100年」学習運動：当面、上越、豊栄・新発田等は？

⑦ 「原菊枝顕彰碑」建立運動の具体化：「実行委員会」設立検討中。

⑧ 県本部財政の確立：荒井氏との引継ぎに向けて。

**【8】映画「伊藤千代子の生涯」上映運動**

① 上映運動を4月15日から開始

② チラシのNへの折込・魚沼・上越へ1月中に。

③ その他の問題

④ 賛同団体・個人への協力要請

⑤ 「木崎争議・100年」学習運動：当面、上越、豊栄・新発田等は？

⑥ 「原菊枝顕彰碑」建立運動の具体化：「実行委員会」設立検討中。

以上

**【5】学校法人森友学園をめぐる財務省の公文書改ざん問題で、自ら命を絶つた近畿財務局職員の赤木俊夫さんの妻が、国に損害賠償を求めた訴訟で国が原告の請求を認める「認諾」を行つた。**

赤木さんの妻・雅子さんは、「ひきよくなやり方だ」「お金を払えばすむ問題ではない」と言つてゐる。雅子さんが解明を求めているのは改ざんの詳細な事実である。どのよくな事実だつたのか裁判で明らかにすることを求めたが、それを断ち切り、真相にふたをしたのが「認諾」だ。「認諾」を行つたといふことは、國に非があつたことを認めたのだから、①国にどんな非があつたのか、②文書偽造の詳細な経過、③その責任を明らかにするよう政府に求めよう。

男女賃金格差の是正などジエンダー平等や、気候危機打開のとりくみを政府に求めよう。

⑦ 2022年の参議院選挙では、野党共闘をしつかり行い自公議

⑧ 東京電力柏崎刈羽原発は「東月の景気拡大を実現した」と同政権が発表した。私は當時、またしても安倍政権の偽造かと思つたが、やっぱり偽造だったのだ。

安倍政権下で全く景気が良いという実感もないのに、2019年1月に、「戦後最長・73ヶ月の景気拡大を実現した」と同政権が発表した。私は當時、またしても安倍政権の偽造かと思つたが、やっぱり偽造だったのだ。

席を大幅に減らし、政権交代の地ならしをしよう。

電不祥事間断なく」（「新潟日報」2022年1月4日付）と

（8）東京電力柏崎刈羽原発は「東月の景気拡大を実現した」と同政権が発表した。私は當時、またしても安倍政権の偽造かと思つたが、やっぱり偽造だったのだ。

（3）実行委員会於：カメリア3階

（4）オール野党新春街宣於：新潟駅前

（5）1月11日（火）13時30分

（6）1月12日（水）13時30分

（7）1月13日（木）13時30分

（8）1月14日（金）13時30分

（9）1月15日（土）13時30分

（10）1月16日（日）13時30分

（11）1月17日（月）13時30分

（12）1月18日（火）13時30分

（13）1月19日（水）13時30分

（14）1月20日（木）13時30分

（15）1月21日（金）13時30分

（16）1月22日（土）13時30分

（17）1月23日（日）13時30分

（18）1月24日（月）13時30分

（19）1月25日（火）13時30分

（20）1月26日（水）13時30分

（21）1月27日（木）13時30分

（22）1月28日（金）13時30分

（23）1月29日（土）13時30分

（24）1月30日（日）13時30分

（25）1月31日（月）13時30分

（26）2月1日（火）13時30分

（27）2月2日（水）13時30分

（28）2月3日（木）13時30分

（29）2月4日（金）13時30分

（30）2月5日（土）13時30分

（31）2月6日（日）13時30分

（32）2月7日（月）13時30分

（33）2月8日（火）13時30分

（34）2月9日（水）13時30分

（35）2月10日（木）13時30分

（36）2月11日（金）13時30分

（37）2月12日（土）13時30分

（38）2月13日（日）13時30分

（39）2月14日（月）13時30分

（40）2月15日（火）13時30分

（41）2月16日（水）13時30分

（42）2月17日（木）13時30分

（43）2月18日（金）13時30分

（44）2月19日（土）13時30分

（45）2月20日（日）13時30分

（46）2月21日（月）13時30分

（47）2月22日（火）13時30分

（48）2月23日（水）13時30分

（49）2月24日（木）13時30分

（50）2月25日（金）13時30分

（51）2月26日（土）13時30分

（52）2月27日（日）13時30分

（53）2月28日（月）13時30分

（54）2月29日（火）13時30分

（55）2月30日（水）13時30分

（56）2月31日（木）13時30分

（57）3月1日（金）13時30分

（58）3月2日（土）13時30分

（59）3月3日（日）13時30分

（60）3月4日（月）13時30分

（61）3月5日（火）13時30分

（62）3月6日（水）13時30分

（63）3月7日（木）13時30分

（64）3月8日（金）13時30分

（65）3月9日（土）13時30分

（66）3月10日（日）13時30分

（67）3月11日（月）13時30分

（68）3月12日（火）13時30分

（69）3月13日（水）13時30分

（70）3月14日（木）13時30分

（71）3月15日（金）13時30分

（72）3月16日（土）13時30分

（73）3月17日（日）13時30分

（74）3月18日（月）13時30分

（75）3月19日（火）13時30分

（76）3月20日（水）13時30分

（77）3月21日（木）13時30分

（78）3月22日（金）13時30分

（79）3月23日（土）13時30分

（80）3月24日（日）13時30分

（81）3月25日（月）13時30分

（82）3月26日（火）13時30分

（83）3月27日（水）13時30分

（84）3月28日（木）13時30分

（85）3月29日（金）13時30分

（86）3月30日（土）13時30分

（87）3月31日（日）13時30分

（88）4月1日（月）13時30分

（89）4月2日（火）13時30分

（90）4月3日（水）13時30分

（91）4月4日（木）13時30分

（92）4月5日（金）13時30分

（93）4月6日（土）13時30分

（94）4月7日（日）13時30分

（95）4月8日（月）13時30分

（96）4月9日（火）13時30分

（97）4月10日（水）13時30分

（98）4月11日（木）13時30分

（99）4月12日（金）13時30分

（100）4月13日（土）13時30分

（101）4月14日（日）13時30分

（102）4月15日（月）13時30分

（103）4月16日（火）13時30分

（104）4月17日（水）13時30分

（105）4月18日（木）13時30分

（106）4月19日（金）13時30分

（107）4月20日（土）13時30分

（108）4月21日（日）13時30分

（109）4月22日（月）13時30分

（110）4月23日（火）13時30分

（111）4月24日（水）13時30分

（112）4月25日（木）13時30分

（113）4月26日（金）13時30分

（114）4月27日（土）13時30分

（115）4月28日（日）13時30分

（116）4月29日（月）13時30分

（117）4月30日（火）13時30分

（118）4月31日（水）13時30分

（119）5月1日（木）13時30分

（120）5月2日（金）13時30分

（121）5月3日（土）13時30分

（122）5月4日（日）13時30分

（123）5月5日（月）13時30分

（124）5月6日（火）13時30分

（125）5月7日（水）13時30分

（126）5月8日（木）13時30分

（127）5月9日（金）13時30分

（128）5月10日（土）13時30分

（129）5月11日（日）13時30分

（130）5月12日（月）13時30分

（131）5月13日（火）13時30分

（132）5月14日（水）13時30分

（133）5月15日（木）13時30分

（134）5月16日（金）13時30分

（135）5月17日（土）13時30分

（136）5月18日（日）13時30分

（137）5月19日（月）13時30分

（138）5月20日（火）13時30分

（139）5月21日（水）13時30分

（140）5月22日（木）13時30分

（141）5月23日（金）13時30分

（142）5月24日（土）13時30分

（143）5月25日（日）13時30分

（144）5月26日（月）13時30分

（145）5月27日（火）13時30分

（146）5月28日（水）13時30分

（147）5月29日（木）13時30分

（148）5月30日（金）13時30分

（149）5月31日（土）13時30分

（150）5月32日（日）13時30分

（151）5月33日（月）13時30分

（152）5月34日（火）13時30分

（153）5月35日（水）13時30分

（154）5月36日（木）13時30分

（155）5月37日（金）13時30分

（156）5月38日（土）13時30分

（157）5月39日（日）13時30分

（158）5月40日（月）13時30分

（159）5月41日（火）13時30分

（160）5月42日（水）13時30分

（161）5月43日（木）13時30分

（162）5月44日（金）13時30分

（163）5月45日（土）13時30分

（164）5月46日（日）13時30分

（165）5月47日（月）13時30分

（166）5月48日（火）13時30分

（167）5月49日（水）13時30分

（168）5月50日（木）13時30分

（169）5月51日（金）13時30分

（170）5月52日（土）13時30分

（171）5月53日（日）13時30分

（172）5月54日（月）13時30分

（173）5月55日（火）13時30分

（174）5月56日（水）13時30分

（175）5月57日（木）13時30分

（176）5月58日（金）13時30分

（177）5月59日（土）13時30分

（178）5月60日（日）13時30分

（179）5月61日（月）13時30分

（180）5月62日（火）13時30分

（181）5月63日（水）13時30分

（182）5月64日（木）13時30分

（183）5月65日（金）13時30分

（184）5月66日（土）13時30分

（185）5月67日（日）13時30分

（186）5月68日（月）13時30分

（187）5月69日（火）13時30分

（188）5月70日（水）13時30分

（189）5月71日（木）13時30分

（190）5月72日（金）13時30分

（191）5月73日（土）13時30分

（192）5月74日（日）13時30分

（193）5月75日（月）13時30分

（194）5月76日（火）13時30分

（195）5月77日（水）13時30分

（196）5月78日（木）13時30分

（197）5月79日（金）13時30分

（198）5月80日（土）13時30分

（199）5月81日（日）13時30分

（200）5月82日（月）13時30分

（201）5月83日（火）13時30分

（202）5月84日（水）13時30分

（203）5月85日（木）13時30分

（204）5月86日（金）13時30分

（205）5月87日（土）13時30分

（206）5月88日（日）13時30分

（207）5月89日（月）13時30分

（208）5月90日（火）13時30分

（209）5月91日（水）13時30分

（210）5月92日（木）13時30分

（211）5月93日（金）13時30分

（212）5月94日（土）13時30分

（213）5月95日（日）13時30分

（214）5月96日（月）13時30分

（215）5月97日（火）13時30分

（216）5月98日（水）13時30分

（217）5月99日（木）13時30分

（218）5月100日（金）13時30分

（219）5月101日（土）13時30分

（220）5月102日（日）13時30分

（221）5月103日（月）13時30分

（222）5月104日（火）13時30分

（223）5月105日（水）13時30分

（224）5月106日（木）13時30分

（225）5月107日（金）13時30分

（226）5月108日（土）13時30分

（227）5月109日（日）13時30分

（228）5月110日（月）13時30分

（229）5月111日（火）13時30分

（230）5月112日（水）13時30分

（231）5月113日（木）13時30分

（232）5月114日（金）13時30分

（233）5月115日（土）13時30分

（234）5月116日（日）13時30分

（235）5月117日（月）13時30分

（236）5月118日（火）13時30分

（237）5月119日（水）13時30分

（238）5月120日（木）13時30分

（239）5月121日（金）13時30分

（240）5月122日（土）13時30分

（241）5月123日（日）13時30分

（242）5月124日（月）13時30分

（243）5月125日（火）13時30分

（244）5月126日（水）13時30分

（245）5月127日（木）13時30分

（246）5月128日（金）13時30分

（247）5月129日（土）13時30分

（248）5月130日（日）13時30分

（249）5月131日（月）13時30分

（250）5月132日（火）13時30分

（251）5月133日（水）13時30分

（252）5月134日（木）13時30分

（253）5月135日（金）13時30分

（254）5月136日（土）13時30分

（255）5月137日（日）13時30分

（256）5月138日（月）13時30分

（257）5月139日（火）13時30分

（258）5月140日（水）13時30分

（259）5月141日（木）13時30分

（260）5月142日（金）13時30分

（261）5月143日（土）13時30分

（262）5月144日（日）13時30分

（263）5月145日（月）13時30分

（264）5月146日（火）13時30分

（265）5月147日（水）13時30分

（266）5月148日（木）13時30分

（267）5月149日（金）13時30分

（268）5月150日（土）13時30分

（269）5月151日（日）13時30分

（270）5月152日（月）13時30分

（271）5月153日（火）13時30分

（272）5月154日（水）13時30分

（273）5月155日（木）13時30分

（274）5月156日（金）13時30分

（275）5月157日（土）13時30分

（276）5月158日（日）13時30分

（277）5月159日（月）13時30分

（278）5月160日（火）13時30分

（279）5月161日（水）13時30分

（280）5月162日（木）13時30分

（281）5月163日（金）13時30分

（282）5月164日（土）13時30分

（283）5月165日（日）13時30分

（284）5月166日（月）13時30分

（285）5月167日（火）13時30分

（286）5月168日（水）13時30分

（287）5月169日（木）13時30分

（288）5月170日（金）13時30分

（289）5月171日（土）13時30分

（290）5月172日（日）13時30分

（291）5月173日（月）13時30分

（292）5月174日（火）13時30分

（293）5月175日（水）13時30分

（294）5月176日（木）13時30分

（295）5月177日（金）13時30分

（296）5月178日（土）13時30分

（297）5月179日（日）13時30分

（298）5月180日（月）13時30分

（299）5月181日（火）13時30分

（300）5月182日（水）13時30分

（301）5月183日（木）13時30分

（302）5月184日（金）13時30分

（303）5月185日（土）13時30分

（304）5月186日（日）13時30分

（305）5月187日（月）13時30分

○「日の丸」・「君が代」強制と社会科解体・戦後社会科教育体験記  
E、倫理・社会（政治・経済）  
その二  
(第四次改訂学習指導要領)  
の時期  
オ、杉本判決と全民研結成  
(口) 教員のアカデミック・フリー  
ダム

〔沼田教授の講演〕(つづき)  
(十) 「全体の奉仕者」論の歴史的変遷と教員組合運動

○もう一つ注目してもらいたいのは、国家権力機構というのだが、しっかりと支配体制を確立する」と。これはどうしても今日の段階において、支配階級としてやらざるを得ないという方向でしょ。これは一つは小選挙区制の問題です。つまり議会における

## 宗教界の戦争責任 —真言宗を中心にして— (八五)

田邊 埼正

〔附論注〕③

☆「日の丸」・「君が代」強制と社会科解体・戦後社会科教育体験記  
E、倫理・社会（政治・経済）  
その二  
(第四次改訂学習指導要領)  
の時期  
オ、杉本判決と全民研結成  
(口) 教員のアカデミック・フリー  
ダム

〔沼田教授の講演〕(つづき)  
(十) 「全体の奉仕者」論の歴史的変遷と教員組合運動

○もう一つ注目してもらいたいのは、国家権力機構というのだが、しっかりと支配体制を確立する」と。これはどうしても今日の段階において、支配階級としてやらざるを得ないという方向でしょ。これは一つは小選挙区制の問題です。つまり議会における

る自民党、保守勢力の不動の地位を確立していくということであります。(戦後日本における小選挙区制導入について詳細に記す力は筆者にはない。手許にある資料にもとづいて、ややアトランダムに記すこととする。

①まず述べたいのは、小選挙区制の導入は憲法改悪のたぐらみと連動しつつ展開されてきたということである。公職選挙法が公布されたのは1950年4月15日である。翌年5月14日、第二次選挙制度調査会が発足し、8月28日、吉田内閣に単純小選挙区制を答申した。54年3月12日、自由党憲法調査会発会式において、鳩山一郎は憲法改正の必要を強調した。11月5日、自由党は「日本国憲法改正案要綱」を発表し、1

月14日、鳩山首相は憲法9条の改正はとくに必要であると表明した。55年2月27日、第27回総選挙が行われた。67議席のうち民主党185、自由党112、革新政党は左派社会党89、右派社会党67、労農党4、日本共産党2合計162議席、三分の一以上を獲得して改憲を阻止した。10月13日、日本社会党統一大会が行われ、翌11月15日、自由党と民主党が合同して、いわゆる保守合同・自由民主党となつた。その時自民党は『党の使命』として「現行憲法の自主的改正」をかけた。56年2月11日、岸信介ら自民党議員60名が憲法調査会法案を国会に提出した。2月20日、自民党選挙調査会特別委員会は単純小選挙区制と区割試案を発表した。その内容は、定数は495のうち497に修正、区割では社会党議員の当選が不可避のところは自民党も当選できるようにしたり、また、自民党候補の同士打ちがさけられないところは一人そろつて当選できるようにするなどして二人区を二十区つくり、さらに自民党議員の地盤関係に応じて「飛び石型」、「縦割り型」などの区割にするなど党利党略

を露骨にするものであった。政府はこの自民党案をもとに3月15日、政府案を作成し、1月9日、公職選挙法改正案として上程した。これが「鳩マンダー」として批判されたものであり、マスコミでさえも、例えば3月17日の朝日新聞社説は「これまでに党利党略で着色した改正案を、よくも国民の前に恥ずかしくもなく出せるものだ」と批判するほどであった。これに対し、岸自民党幹事長は「小選挙区制法案はあくまで成立させることを、一部では今度の改正は党利党略だ」というが、党利党略がくわわるのはやむをえない」と開き直り、鳩山首相も演説会で「自主憲法が国会を通過するには三分の二の多数をもたなければならぬ」と演説し、小選挙区制が憲法改悪のためのものであることを公然と述べた。また国会では「共産主義は反民主主義だから、わたしは共産党が一人も当選しないことを望む」と放言した。

民主勢力が反撃に出たのは当然である。この年、メーデー・ストライガーグの一つに「憲法改悪阻止、お手盛り小選挙区制粉碎」がかけられた。5月12日、



大正15(1926)年7月25日 木崎村での無産農民学校上棟式のようす

大正15(1926)年7月25日  
木崎村での無産農民学校上棟式のようす  
版画家・羽田信彌(故人)の作品

小作人組合結成 版画家・羽田信彌(故人)の作品

木崎争議は、「日本の夜明けは新潟から」と言われるような近代日本における先進的な民主化運動です。

大正時代の末期に、木崎村の人たちは、「今の公立小学校は、政府方針に従がう従順な人間づくりしかしない、これでは国民は幸せになれない」として、教育を変えなければ国民は根本的に幸せになれないとして、自分たちで学校を作り、自分たちで教育を行うことを決めました。

この始まりが「無産農民学校の上棟式」。教師陣として、全国から有名な学者や弁護士がかけつけました。

自民党は小選挙区制そのものと区割を分離する修正案を上程し、これが5月16日、衆議院を通過し、6月3日、第二四通常国会は会期終了となり、小選挙区制法案は廃案となつた。一方、憲法調査会法案は3月29日に衆議院で強行採決され5月16日参議院でも強行採決されて成立するに至つた。7月8日、第四回参院選が行われて革新勢力が非改選を含めて三分の一以上をしめ・合計86名・憲法改正は当分の間、不可能となつた。

②96年10月20日に行われた第四十一回総選挙において、はじめて小選挙区比例代表併用制がとられた。その前後の政治情勢について年表ふうに記すことにとする。

89年

7月23日、第十五回参院選が行われ、与野党の議席が逆転した。すなわち、自民党は30減の36、社会党は24増の46、連合の会11、公明党10、共産党5、民社党3、非改選との合計は自民109、社会67、公明21、共産14、連合の会11、民社8となり、自民党は過半数をとれず敗北した。元号

が変わったからといって社会が変わるのはではないが、平成の時代は元号とは真逆な激動の時代となつた。

が行われ、自民党は275議席を獲得して衆議院では安定多数を確保した。社会136、公明45、共産16、民社14であつた。2月28日、第二次海部内閣が成立した。4月3日～5日、社会党大会が開催され、現行規約の「社会主義革命を達成」を「社会民主主義を選択」に修正し、連合政権のもとで日米安保条約、自衛隊存続を認める『新しい政治への挑戦』を探査した。

4月26日、選挙制度審議会は衆議院に小選挙区比例代表並立制・定数500人程度、配分は小選挙区6対比例区4・の導入を核とする答申を決定し、海部首相に提出した。6月28日、日米構造問題協議が決着し、91年度から総額430兆円の公共投資十ヶ年計画、特許の審査期間短縮、大店法・独占禁止法改正など米側の主張を受け入れた。こうして日本経済の対米従属がいつそう深まつた。7月30日、選挙制度審議会は政党法

導入を含む第二次答申を提出した。8月4日、ブッシュ米大統領は海部首相に対し、クウェート侵攻を理由とするイラク制裁に協力を要請した。これを受け8月5日、海部内閣はイラクに対する石油輸入の禁止、経済協力の凍結などの制裁を決定した。8月14日、ブッシュ大統領はさらにペルシャ湾岸諸国への支援を要請し、日本政府は経済支援、「要員派遣」、在日米軍経費の肩代わりなどの貢献策の検討を開始した。8月29日、海部首相は民間航空機による食糧・医薬品等の輸送、医療協力団の派遣、紛争周辺国への経済援助などの中東支援策を発表した。9月14日、多国籍軍への追加支援10億ドル、エジプト・トルコ・ヨルダンなどに20億ドルの経済援助など、第二次中東支援策を決定した。12月29日、主要閣僚は留任して第二次海部改造内閣が発足した。

1月28日、国会で代表質問が行われ、自民・民社は支援策を支持し、社会・共産両党は憲法の90億ドル追加支援にともなう予算修正等を共産党以外の各党の賛成で可決した。4月24日、閣議で自衛隊のペルシア湾への掃海艇派遣を決定した。これは初の自衛隊の海外派兵となつた。1950年6月の朝鮮戦争を契機に発足した警察予備隊が日本の再軍備のはじまりであつた。40年後の1990年8月、イラクのクエート侵攻に始まる湾岸戦争において、自衛隊はついに海外にまで進出するに至つたのである。5月28日、矢野公明党委員長はPKOへの自衛隊参加を容認する意向を表明した。6月25日、選挙制度審議会は小選挙区区割り案を答申した。6月29日、自民党総務会連並立制を導入する政治改革関連三法案の党議決定を強行した。これに対して宮沢、三塚、渡辺の三派は强行に反対し紛糾した。